

瀬戸内市長の黒石健太郎です。

令和7年6月、県内最年少の市長として、41歳で市長に就任しました。

これから、『人が集い、手取りが増えるまちづくり』の実現に向け、本気で取組を進めていきます。

今回、そのための仲間、『副市長』を募集します。

ぜひ、力を貸してください。

瀬戸内市は、政令指定都市である岡山市に隣接し、新幹線が止まる岡山駅からJRで最短21分で到着できるまちです。また、市内のJR駅周辺にはショッピングセンターやドラッグストアなどの商業施設もあり、その利便性の高さから駅周辺は人口増加地域となっています。

また、ロイヤルホスト等の全国飲食店で提供されている牡蠣の産地である邑久町、国宝級の日本刀のうち約半数の生産地でもある長船町や、県内唯一のヨットハーバーがあり日本のエーゲ海と呼ばれる牛窓町など、全国に通用する多数の魅力と可能性を秘めたまちが瀬戸内市なのです。

この魅力をさらに高め、発信することで、移住・定住や市民の皆さまの手取り増につなげていきたいのです。

私は、新卒でリクルートに就職し、営業や新規事業開発に従事。その後、事業開発の知見を活かし、起業の学校を立ち上げ10数年経営してきました。また、インターネット広告代理店も運営してきました。

そのようなキャリアを積んだ上で市長に就任したからこそ、行政の仕組みを新たな視点で見直し、また官民連携の推進を通じて、さらに瀬戸内市を前へ進めていけると考えています。

とはいえ、瀬戸内市役所だけでも、職員数は600人を超えます。

本気で議論し、同じ方向を向いて、共に歩んでくださる『副市長』が必要です。

ぜひ、あなたの力を貸してください。

ご応募、お待ちしております。

